Ⅲ　ポイントカード等の保有・利用状況

1　概要

(1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは関東地方

世帯全体において、ポイントカードやマイレージカードを持っている世帯員がいる世帯の割合は 69.7%となっており、前年に比べ 6.0 ポイントの上昇となっている。これを地方別にみると、関東が 74.5%と最も高く、次いで近畿が 72.7%、北海道が 72.2%などとなっている。これを前年と比べると、東海では 9.6 ポイントの上昇、北海道では 9.4 ポイントの上昇などとなっており、いずれの地方でも上昇となっている。都市階級別にみると、大都市が 75.1%と最も高くなっている。これを前年と比べると、いずれの都市階級でも上昇となっている。

また、ポイントを交換した世帯員がいる世帯の割合は 20.5%となっており、前年に比べ 1.9 ポイントの上昇となっている。(表 18、図 18)

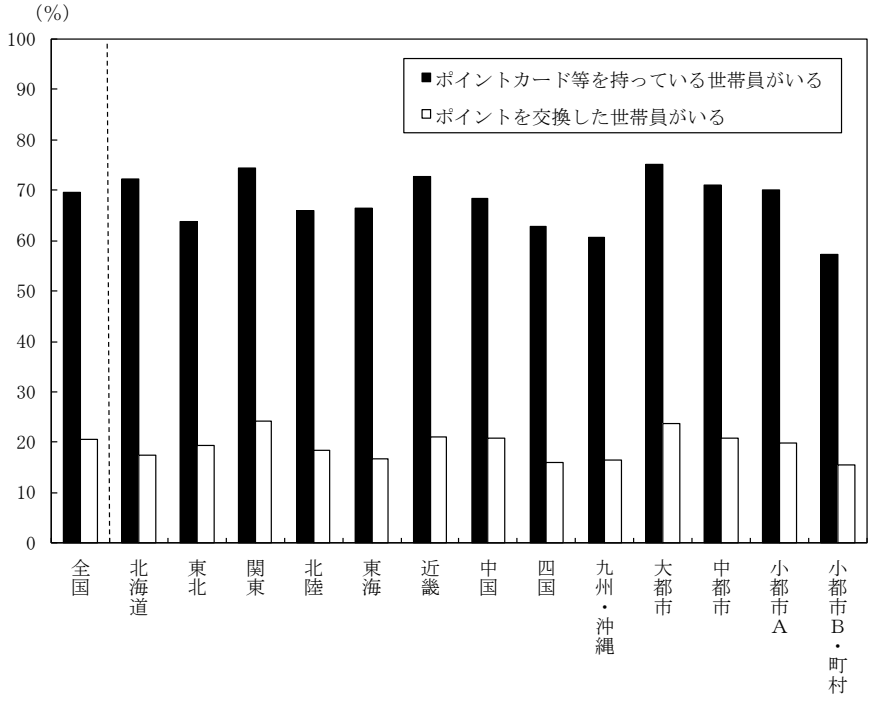
表 18　ポイントカード等の保有状況

(%)

	全国	地方									都市階級			
		北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	大都市	中都市	小都市A	小都市B・町村
【ポイントカード等を持っている世帯員がいる】														
平成20年(a)	63.7	62.8	56.6	71.1	59.8	56.8	65.9	60.4	56.7	55.4	69.6	66.2	60.4	53.8
21　(b)	69.7	72.2	63.7	74.5	65.9	66.4	72.7	68.4	62.8	60.7	75.1	71.0	70.0	57.3
ポイント差(b-a)	6.0	9.4	7.1	3.4	6.1	9.6	6.8	8.0	6.1	5.3	5.5	4.8	9.6	3.5
【ポイントを交換した世帯員がいる】														
平成20年(a)	18.6	15.9	17.4	22.5	17.2	13.7	18.4	19.9	16.2	14.7	20.5	19.9	17.3	14.8
21　(b)	20.5	17.4	19.3	24.2	18.4	16.7	21.0	20.8	16.1	16.4	23.7	20.8	19.9	15.4
ポイント差(b-a)	1.9	1.5	1.9	1.7	1.2	3.0	2.6	0.9	-0.1	1.7	3.2	0.9	2.6	0.6

(注) 地方・都市階級ごとの世帯総数に対する割合。図18も同じ。

図 18　ポイントカード等の保有状況 － 平成 21 年



(2) ポイントで交換したもので最も多いのは食品

世帯全体において、貯めたポイントで交換したもの（複数回答）の割合をみると、食品（飲料含む）が 6.6%と最も高く、次いで商品券が 5.2%、雑貨が 3.4%などとなっている。(表 19、図 19)

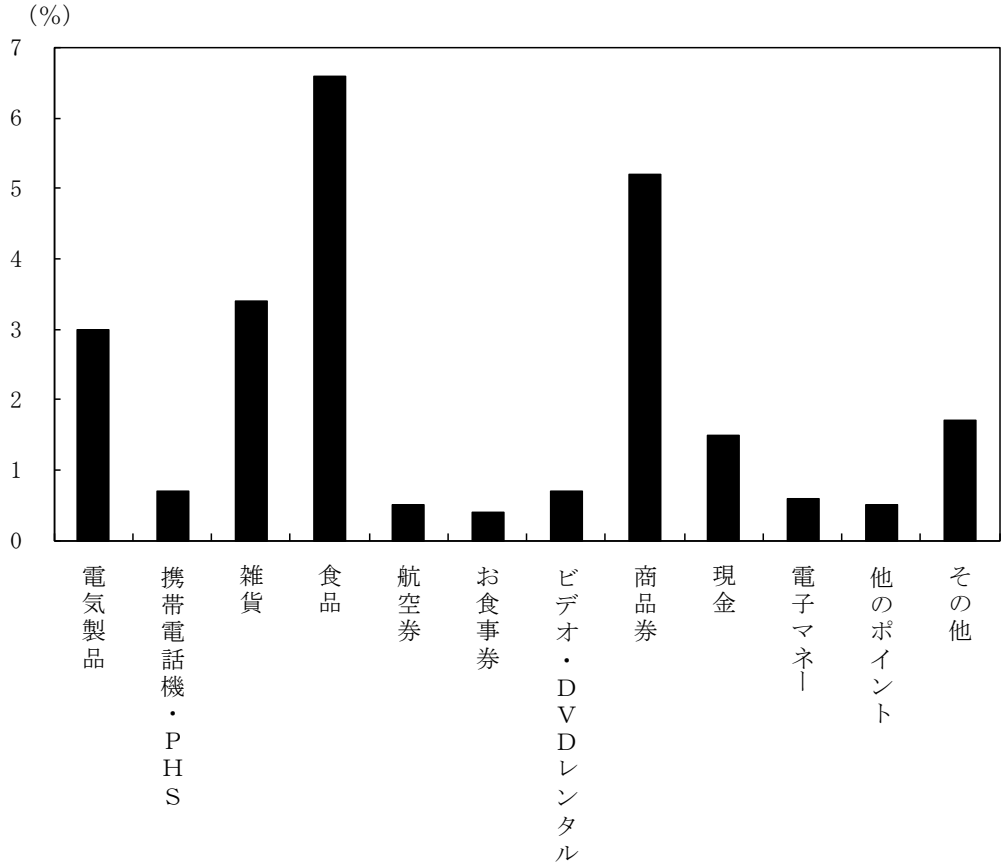
表 19　貯めたポイントで交換したもの

(%)

	電気製品 1)	携帯電話機・ＰＨＳ	雑貨	食品 2)	航空券 3)	お食事券	ビデオ・ＤＶＤレンタル	商品券	現金	電子マネー	他のポイント	その他
平成20年(a)	2.8	0.7	3.3	5.7	0.4	0.4	0.6	5.2	1.4	0.4	0.4	1.7
21　(b)	3.0	0.7	3.4	6.6	0.5	0.4	0.7	5.2	1.5	0.6	0.5	1.7
ポイント差(b-a)	0.2	0.0	0.1	0.9	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0

（注）複数回答
1)消耗品含む。
2)飲料含む。
3)アップグレイド含む。

図 19　貯めたポイントで交換したもの ― 平成 21 年



2　世帯主の年齢階級別

(1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは 30～39 歳の世帯

二人以上の世帯について、ポイントカードやマイレージカードを持っている世帯員がいる世帯の割合を世帯主の年齢階級別にみると、30～39 歳が 84.1%と最も高く、次いで 40～49 歳が 84.0%などとなっている。これを前年と比べると、70 歳以上が 7.6 ポイントの上昇、30 歳未満が 6.4 ポイントの上昇などとなっている。

また、ポイントを交換した世帯員がいる世帯の割合をみると、40～49 歳が 27.1%と最も高くなっている。これを前年と比べると、70 歳以上が 3.8 ポイントの上昇、60～69 歳が 2.5 ポイントの上昇などとなっている。(表 20、図 20)

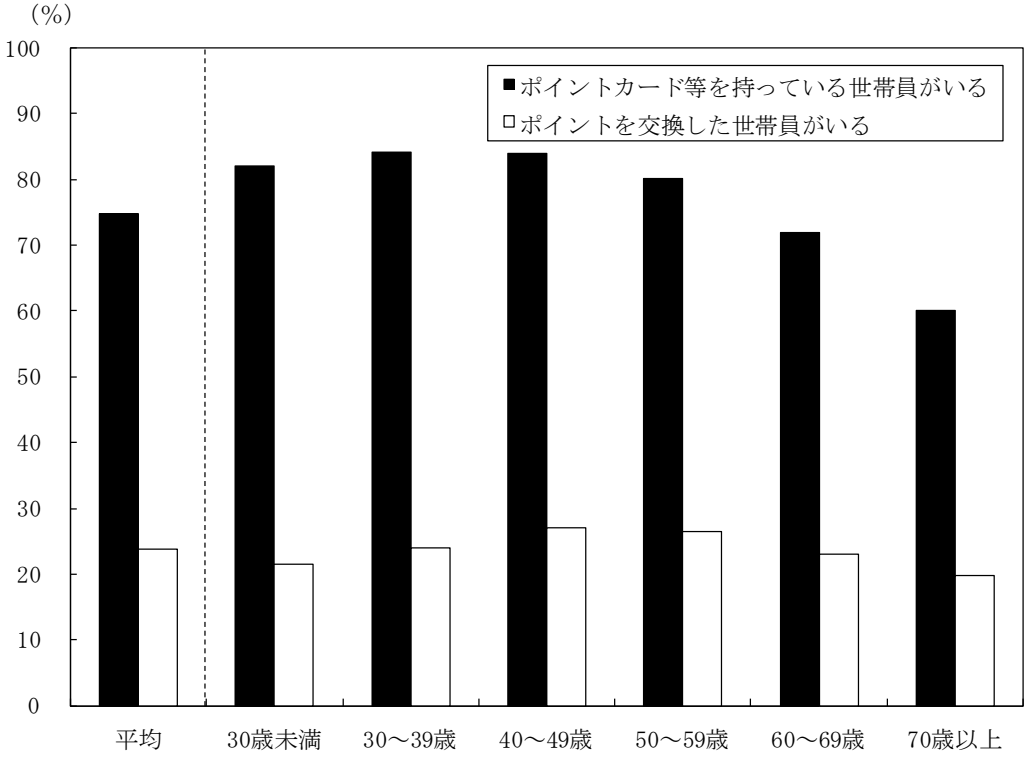
表 20　世帯主の年齢階級別ポイントカード等の保有状況（二人以上の世帯）

(%)

	平均	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
【ポイントカード等を持っている世帯員がいる】							
平成20年(a)	69.3	75.7	80.7	81.1	74.5	67.0	52.5
21　(b)	74.8	82.1	84.1	84.0	80.2	71.9	60.1
ポイント差(b-a)	5.5	6.4	3.4	2.9	5.7	4.9	7.6
【ポイントを交換した世帯員がいる】							
平成20年(a)	21.4	19.2	22.9	25.3	24.4	20.5	15.9
21　(b)	23.8	21.5	23.9	27.1	26.4	23.0	19.7
ポイント差(b-a)	2.4	2.3	1.0	1.8	2.0	2.5	3.8

(注) 年齢階級ごとの世帯総数に対する割合。図20も同じ。

図 20　世帯主の年齢階級別ポイントカード等の保有状況（二人以上の世帯）－ 平成 21 年



3　世帯主の職業別

(1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは会社などの役員の世帯

二人以上の世帯について、ポイントカードやマイレージカードを持っている世帯員がいる世帯の割合を世帯主の職業別にみると、会社などの役員が 82.8%と最も高く、次いで雇用されている人が 81.1%、自営業主・その他が 70.4%などとなっている。

また、ポイントを交換した世帯員がいる世帯の割合をみると、会社などの役員が 27.5%と最も高くなっている。(表 21、図 21)

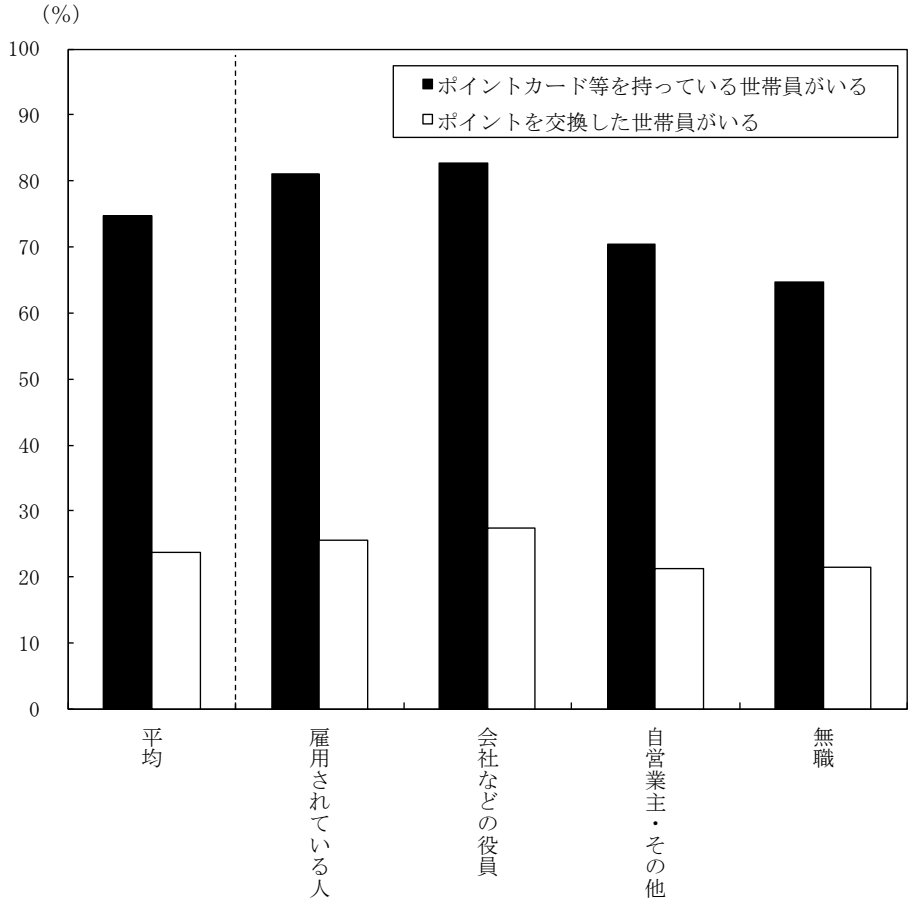
表 21　世帯主の職業別ポイントカード等の保有状況（二人以上の世帯）

(%)

	平均	雇用されている人	会社などの役員	自営業主・その他	無職
【ポイントカード等を持っている世帯員がいる】					
平成20年(a)	69.3	77.1	78.8	64.6	56.9
21　(b)	74.8	81.1	82.8	70.4	64.6
ポイント差(b-a)	5.5	4.0	4.0	5.8	7.7
【ポイントを交換した世帯員がいる】					
平成20年(a)	21.4	23.9	27.3	19.4	17.2
21　(b)	23.8	25.6	27.5	21.2	21.5
ポイント差(b-a)	2.4	1.7	0.2	1.8	4.3

(注) 職業ごとの世帯総数に対する割合。図21も同じ。

図 21　世帯主の職業別ポイントカード等の保有状況（二人以上の世帯）－ 平成 21 年



(2) ポイントを交換した金額が最も多いのは会社などの役員の世帯

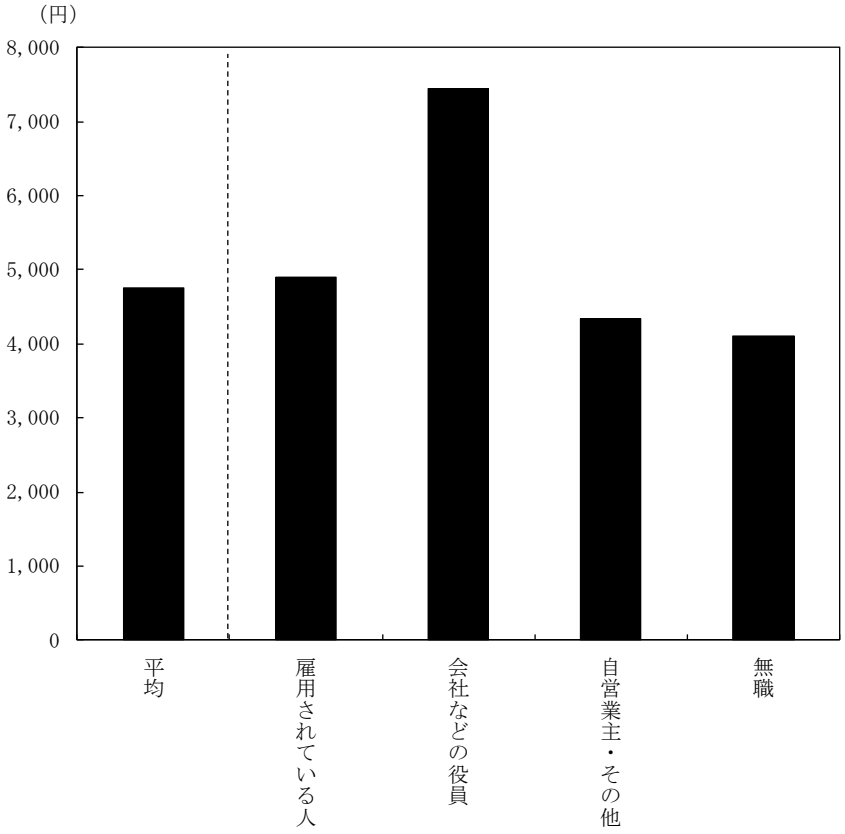
二人以上の世帯について、ポイントを交換した１世帯当たり１か月間の平均交換金額を世帯主の職業別にみると、会社などの役員が 7,439 円と最も多く、次いで雇用されている人が 4,907 円、自営業主・その他が 4,337 円などとなっている。(表 22、図 22)

表 22　世帯主の職業別ポイントを交換した１世帯当たり１か月間の平均交換金額（二人以上の世帯）

（円）

	平均	雇用されている人	会社などの役員	自営業主・その他	無職
平成20年	5,635	5,934	8,756	5,420	4,138
21	4,749	4,907	7,439	4,337	4,111
増減率（%）	−15.7	−17.3	−15.0	−20.0	−0.7

図 22　世帯主の職業別ポイントを交換した１世帯当たり１か月間の平均交換金額(二人以上の世帯)－ 平成 21 年



4　年間収入階級別

(1) ポイントを交換した割合は年間収入階級に比例して高くなる傾向

二人以上の世帯について、ポイントカードやマイレージカードを持っている世帯員がいる世帯の割合を年間収入階級別にみると、年間収入階級が高いほど割合が高くなる傾向がある。

また、ポイントを交換した世帯員がいる世帯の割合も、年間収入階級が高いほど割合が高くなる傾向がある。(表 23、図 23)

表 23　年間収入階級別ポイントカード等の保有状況（二人以上の世帯）

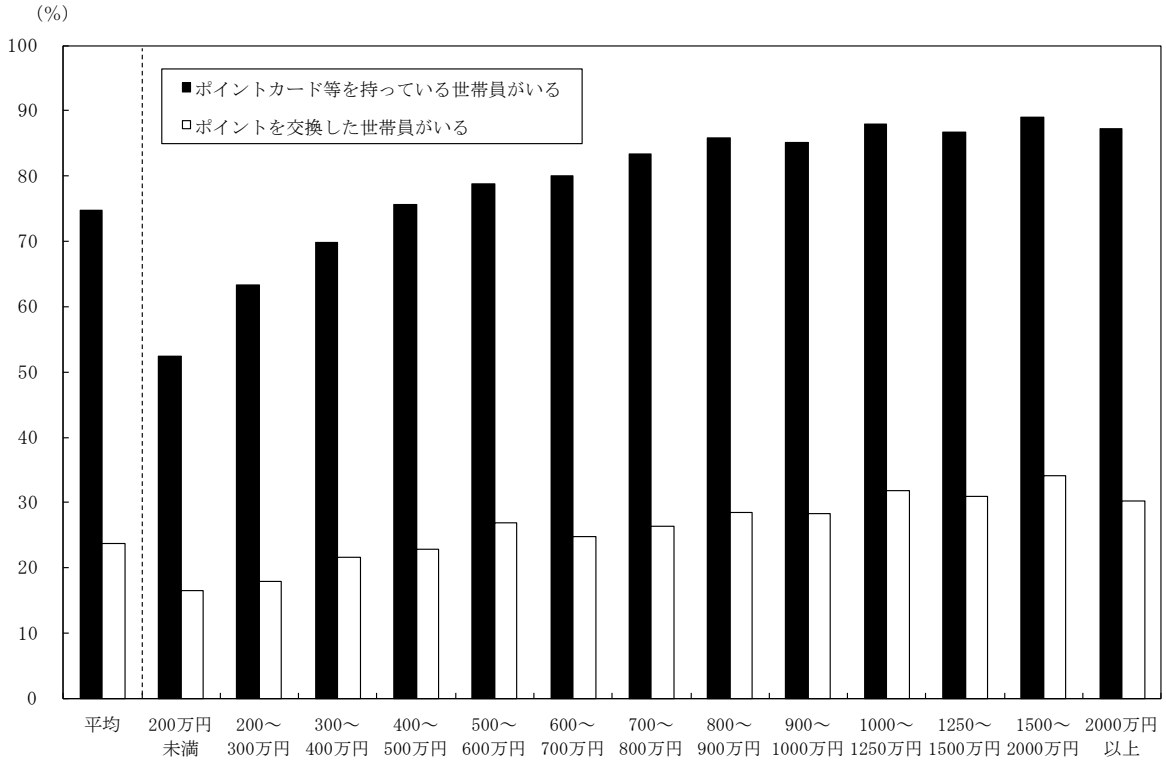
(%)

	平均	200万円未満	200～300万円	300～400万円	400～500万円	500～600万円	600～700万円	700～800万円	800～900万円	900～1000万円	1000～1250万円	1250～1500万円	1500～2000万円	2000万円以上
【ポイントカード等を持っている世帯員がいる】														
平成20年	69.3	46.0	54.5	63.2	68.7	74.3	75.5	79.8	82.8		85.2	85.6	86.8	
21	74.8	52.4	63.4	69.8	75.6	78.9	80.1	83.4	85.9	85.2	88.0	86.8	89.0	87.2

	平均	200万円未満	200～300万円	300～400万円	400～500万円	500～600万円	600～700万円	700～800万円	800～900万円	900～1000万円	1000～1250万円	1250～1500万円	1500～2000万円	2000万円以上
【ポイントを交換した世帯員がいる】														
平成20年	21.4	12.2	14.9	17.9	20.1	22.0	23.8	25.5	28.0		30.0	30.4	33.3	
21	23.8	16.5	17.9	21.7	22.9	26.9	24.8	26.4	28.5	28.3	31.9	30.9	34.2	30.2

（注）年間収入階級ごとの世帯総数に対する割合。図23も同じ。
平成21年から年間収入階級の区分を変更した。

図 23　年間収入階級別ポイントカード等の保有状況（二人以上の世帯）－ 平成 21 年



(2) 年間収入階級 1500 万円以上の世帯ではポイントを交換した平均金額は 10,000 円を超える

二人以上の世帯について、ポイントを交換した１世帯当たり１か月間の平均交換金額を年間収入階級別にみると、1500～2000 万円未満が 11,104 円と最も多く、次いで 2000 万円以上が 10,680 円、1250～1500 万円未満が 7,964 円などとなっている。(表 24、図 24)

表 24　年間収入階級別ポイントを交換した１世帯当たり１か月間の平均交換金額（二人以上の世帯）

（円）

	平均	200万円未満	200～300万円	300～400万円	400～500万円	500～600万円	600～700万円	700～800万円	800～900万円	900～1000万円	1000～1250万円	1250～1500万円	1500～2000万円	2000万円以上
平成20年	5,635	3,941	2,443	3,696	3,667	4,794	4,560	5,641	5,744		8,375	16,605	12,738	
21	4,749	4,046	3,090	3,518	4,149	4,332	4,593	4,716	4,524	6,389	6,372	7,964	11,104	10,680

（注）平成21年から年間収入階級の区分を変更した。

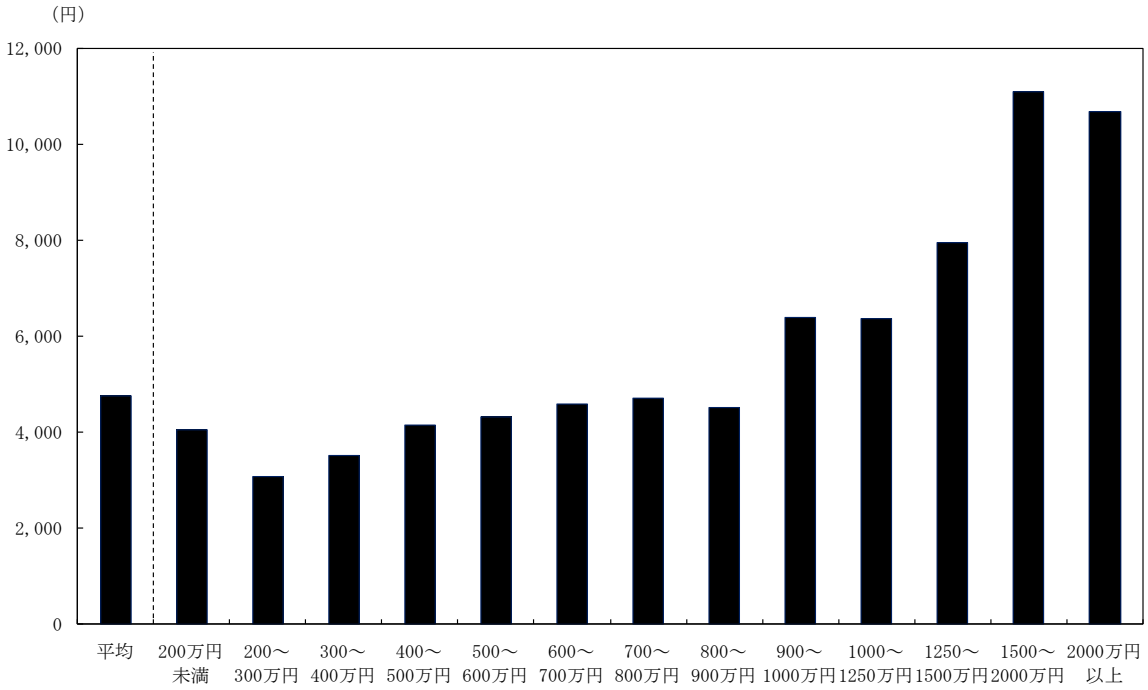



図 24　年間収入階級別ポイントを交換した１世帯当たり１か月間の平均交換金額(二人以上の世帯)－ 平成 21 年